

平成20年度の寒河江市普通会資金収支計算書（CF）について

現金収支については、現行の歳入歳出決算書においても明らかにされますが、資金収支計算書においては、基準モデルでは「経常的収支」「資本的収支」「財務的収支」、改訂モデルでは「経常的収支」「公共資産整備収支」「投資・財務的収支」という性質の異なる三つの活動に大別して記載され、地方公共団体の資金が期首残高から期末残高へと増減した原因が明らかにされるのが特徴です。この点、企業会計のキャッシュ・フロー計算書においては、「営業活動」「投資活動」「財務活動」という三つの活動に区分されます。

「経常的収支」が対象とする「支出」は、基本的に行政コスト計算書が発生主義で計上する資産形成を伴わない経常的な行政活動に伴う費用を現金主義で捉え直したものであり、「収入」は、地方税、地方交付税などの経常的な収入を計上するものです。地方公共団体は、資産形成を伴わない経常的な行政活動のほか、施設の建設や、道路、橋梁などインフラ資産の形成なども行っていかねばなりませんので、経常的収支は黒字に保たれるのが通常です。

1 平成20年度の経常的収支、公共資産整備収支、投資・財務的収支について

普通会計の経常的収支額は34億7,714万1千円、公共資産整備収支額は▲5億6,141万1千円、投資・財務的収支額は▲28億5,635万3千円となり、当年度歳計現金額は前年度より5,937万7千円増加し、期末歳計現金残高は6億1,012万9千円となりました。

2 分析

○基礎的財政収支（プライマリーバランス）

期中の収支のうち公債関連の収支を除いたもので、受益と負担の均衡を示します。

平成20年度の寒河江市の基礎的財政収支は17億7,695万4千円の黒字となりました。これは、地方債の発行を抑制しているため、地方債償還額が発行額を大きく上回っているためです。